

# ホウ酸塩で乾材シロアリ対策

## 安全性・持続性で期待集める

日本国内で1976年に確認されて以来、徐々に被害が広がるアメリカンサイシロアリ。イエシロアリやヤマトシロアリなど、在来の地下シロアリとくらべ、地中巣や蟻道をつくらず飛翔して建物に侵入し、乾燥木材にも加害をもたらすことから、従来の白蟻対策では対処ができない脅威とみられている。

今回この現場で採用されたのは、日本ボレイト社

構造躯体から木質下地材まで、屋内外に見え掛かる木部すべてに薬剤処理を施す。延床面積250㎡の現場の場合、2人

建築基準法では、地面から1m以内の木部には防腐・防蟻処理が義務付けられている。ホウ酸塩はこの基準法と「フラット35」の技術基準を満たす防腐防蟻剤として使用されている。

アリへの予防処理工法としても利用できる。今回の診療施設では、施工主である医師から「体を弱めた多くの患者が訪れる場所。誰にとっても安全な空間をつくりたい」との要望を受け、設計事務所がホウ酸塩処理を提案、採用された。今後の課題は地下シロアリ対策としての長期優良住宅仕様への対応だ。



現場は無色無臭の液体。延床面積250㎡の建物に1日完了した。

平造りの木造診療施設。木部すべてにホウ酸塩の予防処理を同時に行い、アメリカンサイシロアリと同時に行い、基準防腐防蟻処理にもなる。



建築基準法やフラット35では使用が認められているが、長期優良住宅の劣化等級3としては(社)日本保存木材協会(社)日本しるあり対策協会の認定が必要になる。だが現状ではいずれの認定も取得しておらず、長期優良住宅仕様の実績がない。

### 無臭無機質が特徴

群馬県館林市内に現在建築している木造平屋建ての診療施設。上棟直後の現場で、2人の施工者が屋外側の下地合板に液

製「ボロンデガード」。現場で粉体のホウ酸塩を水溶解したもので、屋外側にはさらにシリコン撥水剤を添加する。

作業で1日弱あれば施工は完了する。価格は材工込みで1棟20万円〜30万円が目安だという。

の特徴を生かし、新築時に建物の壁内部から小屋裏を含めて構造材・木質下地材のすべてに噴霧することで、カンザイシロ

役の浅葉健介さんは「カンザイシロアリの予防処理工法としてホウ酸塩への建築業者の期待は高い。長期優良住宅に早期に対応することで普及に弾みをつけたい」と話している。